

融雪期の落雪などに注意！

これからの季節は、気温が高くなるにつれて融雪が進み、雪山や屋根の雪が崩れやすくなり大変危険です。

作業は必ず2人以上で、声かけをしながら行いましょう。

①油断は禁物！

- ・慣れや過信、ちょっとした油断が事故につながります。
- ・作業は必ず2人以上で行いましょう。
- ・緊急事態に備えて、携帯電話を持って又は声かけしながらが大切です。
- ・足元を確認しましょう。(雪がゆるみ、水路などへ転落するおそれあり)
- ・雪下ろしの際は安全に行いましょう。(ハシゴの確実な固定、足場の確認、ヘルメットと命綱の着用)

②高齢者は特に注意！

- ・65歳以上の高齢者一人での作業中による事故が多い傾向です。
- ・家族や近所の方で、声かけを行いましょう！

③屋根からの落雪に注意！

- ・屋根からの落雪に巻き込まれる事故が予想されます。
- ・日中の気温が上がり、屋根の雪が落ちやすくなるため特に注意しましょう！



④除雪機械に注意！

- ・除雪機発進時は、転倒や挟まれたりしないように、足元に気を付けましょう。
- ・作業中は、まわりに人がいないことを確かめましょう。
- ・雪詰まりは、必ずエンジン停止し、雪かき棒を使用してください！
- ・後進時は後方の障害物に注意しましょう。

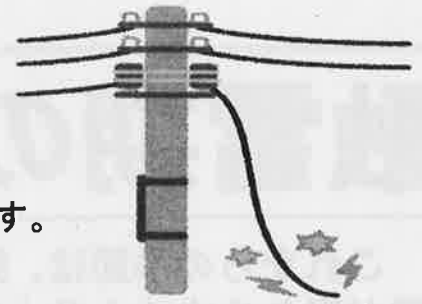
⑤雪崩に注意！

- ・今後、雪崩の危険性も高まってきます。斜面の雪割れ(クラック)等の前兆現象を見つけた場合、斜面等には決して近づかないでください。

電線の断線などを見かけたら…

感電の恐れがありますので、近づいたり、触れたりしないようにしましょう。

電線の断線や垂れ下がりなどを見かけたら、付近の電柱の番号を確認し、下記の連絡先へ連絡をお願いいたします。



ケーブルの見分け方

・約 12mの電柱の場合

地上 7m以上: 電力線 (東北電力)

地上 5m付近: 電話線「NTT東日本」

※場所によって異なる場合もあります。

問い合わせ先

○電力線に関すること

TEL 0120-175-366 (東北電力)

○電話線に関すること

TEL 0120-444-113 (NTT東日本)

※QRコードよりWEBでも申請できます



流雪溝はルールを守る！

中網は、危険防止と水上がり防止のため、絶対に外さないでください。

- ・機械での直接投入はやめましょう！
- ・投雪後は忘れずに流雪溝のふたを閉めてください！



重機による投雪禁止！

重機で流雪溝に直接投雪されること等によって水上がりが発生します。下流で水上がりになると、上流も含め広範囲で流雪溝が使えなくなります。また、住宅が浸水する可能性もあります。

